

# こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース  
2018年10月号

## 大分市議会第3回定例市議会閉会

9月28日、予算議案、決算議案の審議を終了し、市議会は閉会しました。

### 9月補正予算9億6,800万円が可決

危険ブロック塀除去費などの予算には賛成



予算(案)には、危険なブロック塀等の除却に対する補助金。市有施設ブロック塀等の改修事業費。民間放課後児童クラブ活用事業、市立幼稚園保育

室エアコン設置など、市民の暮らし・こどもたちの環境改善予算には賛成しました。

行革推進・大企業優遇予算にはきっぱり反対

ごみ減量・リサイクル推進事業費の指定ごみ袋作製等業務委託料(債務負担行為)。企業立地促進助成金(3社は、資本金10億円以上の大企業)。幹線道路にはアクセスせず、メリットの少ない事業である横尾公共団体土地区画整理事業費に反対しました。

## 「旧優生保護法による強制不妊手術被害者に対する

### 早急な救済を求める意見書」全会一致で採択。

党議員団が9月市議会に提出した意見書(案)は、9月19日の本会議に上程され、全会一致で採択されました。



●伊方原発再稼働中止の意見書(案)は、採択にはいたりませんでした。  
←伊方原発3号機運転差止め大分地裁判決(9月28日)

## 平成29年度大分市一般会計歳入歳出決算、実質

### 単年度収支は、約25億7千万円の赤字

祝祭広場整備のため旧大分パルコ跡地取得に財政調整基金23億2千万円の取り崩しが要因

■一般会計歳入一景気はゆるやかな回復基調にあるといわれているが、法人市民税の減少に見られるように、市税の増収には結びつけない。一方、市民は、給与・年金が年々低下し実質所得が低下するなか、消費税増税や物価の高騰、社会保障改悪による負担増に加え、市民税、固定資産税、軽

自動車税の負担増などで、日々の生活が圧迫されている。

また税の徴収強化や差し押さえ執行などが、市民の生活や生業に支障をきたす事態もおこっている。納税者の生活実態に配慮した対応を強く求めました。低所得層ほど負担が重く、逆進性が強く、格差と貧困を広げる最悪の不公平税制である地方消費税交付金に反対しました。



■一般会計歳出—豊予海峡ルート推進事業費、企業立地促進助成金など、大企業優遇、大形事業推進の予算。大分市中心市地

祝祭広場整備事業費大分城址公園イルミネーション関連事業など市民の合意・納得が不十分な事業。総人件費の抑制や有料指定ごみ袋作製事業など行革推進事業。マイナンバー関連経費、同和対策事業、自衛官募集事務費など平和と安全、民主主義にかかわる支出に反対しました。

## 党大分市後援会2018年度総会

9月15日、東部公民館での総会には100名の参加がありました。真島省三前衆議院議員の基調報告、総会では経過報告・方針・規約・役員



が提案され、承認されました。来年のいっせい選挙選・参議選の躍進へ弾みをつける集会となりました

(東部公民館大会議室にて)

## 生活相談日誌



(きれいになった餅田川)

議会中もたくさんの相談に対応しました。

○ご主人(82歳)の老人ホームの入所がきました。○児童扶養手当の決定通知がとどきました。など、喜びの声がとどいています。

暮らしや地域の要求をお寄せください

## ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6  
546-4505 (FAX兼用)  
携帯090-2714-5612

